

「文化財の保存環境」に関する研究会

## 実験用実大展示ケースを用いた 濃度予測と清浄化技術の評価

東京文化財研究所・保存修復科学センターのプロジェクト「文化財の保存環境の研究」では、文化財の保存環境における“汚染ガス対策の研究”をおこなっています。これまで、展示収蔵空間で適切な内装材料選択のための放散ガス試験法の試案作成、内装材料の放散ガスデータの収集、解析などをおこなってきました。本研究会では、それらの結果を踏まえて製作した実験用実大展示ケースを用いた展示ケース内濃度の測定、気流の可視化、そして清浄化機能に関する試験について報告します。また、保存環境現場での汚染ガスの対策事例について報告いたします。

\*本研究会にご参加頂ける場合は、裏面の「参加申込用紙」にてお申込み願います。

<日 時>

平成 28 年 2 月 15 日 (月) 場所：東京文化財研究所地下 1 階 セミナー室

<プログラム>

- |             |                            |                           |
|-------------|----------------------------|---------------------------|
| 13:30-13:35 | 開会挨拶                       | 岡田 健 (保存修復科学センター センター長)   |
| 13:35-13:50 | 趣旨説明                       | 佐野 千絵 (保存修復科学センター 副センター長) |
| 13:50-14:20 | 実験用実大展示ケースにおける放散ガス         | 古田嶋 智子 (保存修復科学センター 客員研究員) |
| 14:20-14:50 | 実験用実大展示ケースの気流性状について        | 須賀 政晴 (岡村製作所)             |
| 14:50-15:10 | 休 憩                        |                           |
| 15:10-15:40 | 実験用実大展示ケースを用いた清浄化と濃度予測について | 呂 俊民 (保存修復科学センター 客員研究員)   |
| 15:40-16:00 | 空気清浄化事例と清浄化手法の提案           | 佐野 千絵                     |
| 16:10-16:40 | 質疑応答                       |                           |

<本研究会に関する問い合わせ先>

東京文化財研究所 保存修復科学センター  
吉田直人 (保存科学研究室長)・古田嶋智子

電話：03-3823-4872 (4870) /mail：yoshida@tobunken.go.jp

「文化財の保存環境」に関する研究会

「実験用実大展示ケースを用いた  
濃度予測と清浄化技術の評価」

参加申込用紙

本研究会にご参加頂ける場合は、お手数ですが平成28年1月29日(金)までに必要事項をご記入のうえ、下記宛先へメールまたはFAXにてお申し込みください。なお、本申込用紙を受け取った時点で参加者として登録させていただきます。こちらから返信はございませんので、ご了承ください。

お名前： \_\_\_\_\_

ご所属： \_\_\_\_\_

勤務先：〒 \_\_\_\_\_  
ご住所 \_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_

FAX番号： \_\_\_\_\_

e-mail： \_\_\_\_\_

\*公文書（開催通知）が必要な方は、ご所属長のご職名とお名前をお知らせください。

ご所属長職名・氏名： \_\_\_\_\_

<申込用紙 送り先>

国立文化財機構 東京文化財研究所  
保存修復科学センター 古田嶋 宛

e-mail: kotajima@tobunken.go.jp FAX: 03-3822-3247